

# 9 下水道を大切に使いましょう

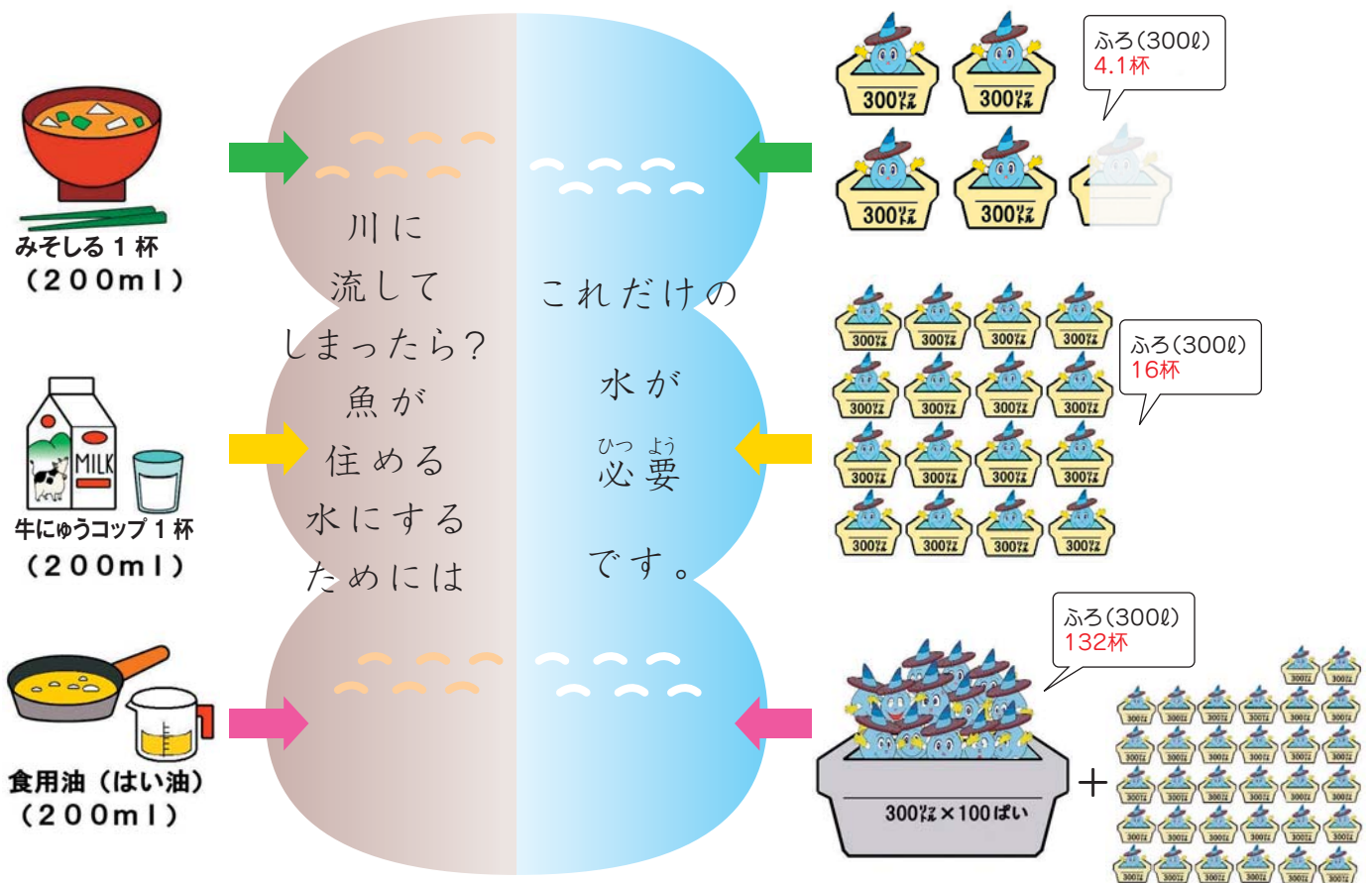
下水道は何でも浄化(汚れを取り除いてきれいにすること)できるわけでは  
ありません。下水道管を詰まらせる物や処理場の微生物が死んでしまう  
ものは、流してはいけません。

これは下水道に流さないでね



- あぶらるい 油類 てんぷら油・ガソリンなど
- さん るい えん そけい せんざい 酸類 塩素系の洗剤など
- やくぶつるい 薬物類 のうやく しょうどくえき い やくひん 農薬・消毒液・医薬品など
- じゅうきんぞく るい たいおんけい すいぎん 重金属類 体温計の水銀など
- るい めの ゴミ類 生ゴミ・布・ゴムなど

魚が住める水にするのは大変です



# 10 できることから始めましょう

下水道も汚れた水ほどきれいにするためには、多くのお金・電気・時間がかかります。

わたしたちが、三河湾とそこに住む生物のために、家庭でできることを考えてみましょう。

- よぶん  
・余分に食べ物を作らない。  
よそわない。



- じる しょくぶつ  
・お米のとき汁は植物に



- ・油を流さない。



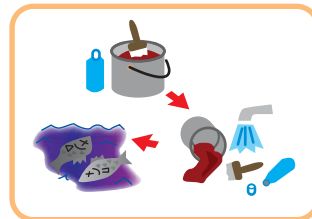
- やさい  
・野菜くずや食べのこしは、  
たいひ  
堆肥やもやすゴミへ。



- しよっき よご ふ あら  
・食器の汚れを拭いてから洗う。



- どく  
・毒になる物を流さない。



- せんざい てきりよう  
・洗剤やシャンプーは適量を使う。



- せんざい へ  
・湯などを使い洗剤を減らす。



たいひ やさい つ かさ くさ ひりよう  
「堆肥」とは、野菜くずや草などを積み重ねて、腐らせた肥料

# 11 豊橋市の下水道のうつりかわり

豊橋市の下水道は、1931年(昭和6年)に工事をはじめ、日本の都市の中で4番目に早く、1935年(昭和10年)に野田処理場の運転を始めました。それから下水道の使える区域を広げたり、下水道処理場の建設もすすめ、今では、約30.1万人が下水道を使えるようになっています。しかし、まだ下水道のないところもあるので、これからも計画的に工事を進めていきます。

豊橋市の人口と下水道を使える人口のうつりかわり

